



石井病院

じんけいクリニック

Now Vol.159

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2021.6

心不全と多職種チーム

心不全とは、心臓が悪い為に息切れや浮腫みが起こり、段々悪くなり生命を縮める病気であり、全国の患者数は約120万人と言われていています。また4年生存率は56%と、ガンより悪い生存率です。そのためにいち早く診断し、病態を解明し治療を行う必要があります。

心不全のステージと経過の図（*1）をお示ししますが、A/Bは心不全の1次予防であり、Cでは生命予後/再入院の予防が治療目標です。残念ながらステージは後戻り出来るものではなく、進行しない様に努めなければなりません。Dになると終末期ケアの段階です。

健康寿命を延伸し生活の質を向上させるには、多職種により多面的で包括的なケア（疾病管理プログラム）が必要です。医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・療法士・MSWなどが夫々の専門性を出しながら、分業にならずに協働して介入する事が重要です。

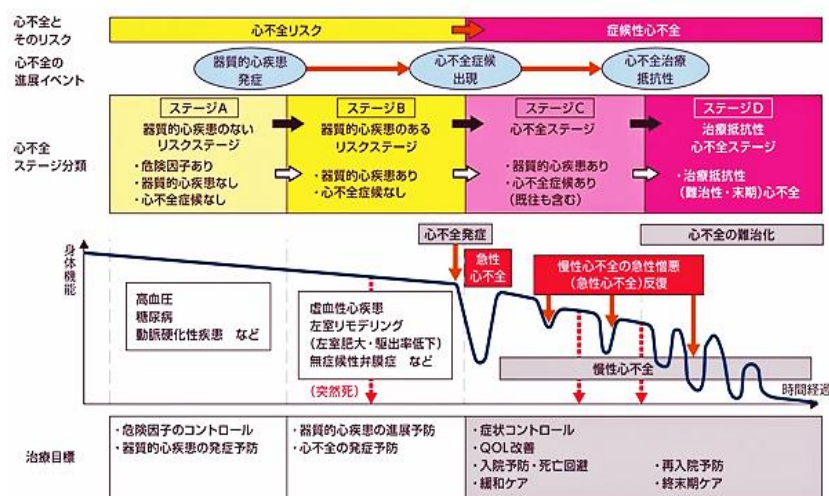
最近、上記の内容などでWebでの講演を何度かさせて頂きましたが、当院でもチーム医療を開始する予定です。ご興味のある方は、一人でも多く参加して頂き、力を合わせて取り組んでいきましょう。



副院長

かじうら たかゆき
梶浦 孝之

図（*1）心不全とそのリスクの進展ステージ（厚生労働省 2017⁴）より改変）急性・慢性心不全診療ガイドンスより引用



心不全診療 Web講演会の様子（5/14 開催）

新型コロナウイルス感染症患者対応車両について

現在、入院等が出来ずに在宅療養を余儀なくされている新型コロナウイルス感染症患者様がおります。そのような患者様の在宅管理を行うため、現在訪問看護にて使用している車両のうち1台を新型コロナウイルス感染症にも対応できるように改良し、当法人の訪問診療・訪問看護・運行部と連携して、在宅療養中の患者様のCT検査・透析治療等を行う際の、搬送用車両として活用しております。これからの医療体制として在宅管理が重要であり協力を願うと、市・保健所からも強い要望を受けております。その中で医療・介護・看護をいかに連携していくかの重要性を考え、対応させていただいております。これからも地域に根付いた医療を行うため全力で邁進してまいります。

どうぞよろしくお願い致します。

1. 運転・助手席と後部席の隔離
2. 乗車時窓の開放（前後共に）
3. 感染リスクが高い場合は、運転手・介助者共に感染防護服使用
4. 乗車後の毎回消毒作業



(感染症対応車両：窓の開放)



(車内隔離シート)



(往診時の医師・看護師)



人工透析ひ尿器科じんけいクリニック ～ 個室透析室について ～

新型コロナウイルス感染者数が、明石市で4月から5月の第4波中最大で1日50名の患者が陽性となっています。新型コロナ感染患者様が、入院できる病床がなくなり、在宅での療養が、余儀なくされる患者様も増えております。

この状況下で、当院でもできる限りの対応を常に準備しております。その中の一つとして、**個室透析室**の完備があります。院内感染（クラスター）の防止として、発熱・咳・鼻汁などの症状がある患者様は、当院に連絡の上、ご自宅で待機していただきます。当院からの電話にて状態を確認の上、発熱外来への受診を行った上で検査結果を待っていただきます。どうしても透析が必要であれば、感染疑いとして、個室管理での透析を実施しております。その際は、感染疑いとして、厳重な感染防止策を行い、人・時間及び場所を隔離した上で、個室透析室まで移動いただきます。感染疑い患者様・対応スタッフが、他のスタッフ・患者様に接触することがないように、ルート・時間を考え、全館スタッフが協力し、万全の体制を取ります。感染疑い患者様は、対応スタッフ以外とは出会わず個室へ移動していただき、個室内で体重測定、透析準備から透析、終了後も対応スタッフ以外は出会わず移動し帰宅していただきます。患者様には、個室透析室での、いつもと違う環境下で、透析をお願いすることになりますが、常時専属スタッフが、個室透析室の隣のスタッフ控室で、ガラス越しに様子観察させていただき、何事もないよう、常に確認させていただいております。

これから、ワクチン接種が始まりますが、ワクチン接種できれば安全ということではなく、何かしらの感染症に、常に対策を講じて行かなければなりません。当院の感染症対策が、当院の患者様の安全を確保し、患者様に安心を与える環境を作り、レベルアップしていけるよう考え、対策を一つ一つ講じていきたいと考えております。

地域の患者様を守るため、使命を果たしていけるよう地域医院・病院としっかりと連携をはかり、これからも、患者様に当院を選び良かったと、思ってもらえるクリニックを目指していきます。

どうぞ、これからもよろしくお願い致します。



仁恵会本部長補佐兼
人工透析の尿器科
じんけいクリニック
事務長代行
はら しんいちろう
原 真一郎



透析やご自身の体調について、不安な点やご質問などがありましたら遠慮なく担当のスタッフにご相談ください



人工透析の尿器科
じんけいクリニック
臨床工学技士
むらまつ ゆうや
村松 侑哉



認定血液浄化関連臨床工学技士 に合格しました

今年2月に行われた第3回認定血液浄化検定試験に合格しました。認定血液浄化検定試験とは、血液浄化・透析の基礎知識を有し、バスキュラーアクセスの管理（シャント管理）、透析関連機器と管理、水質浄化管理、事故対策と災害対策の管理に必要な知識が得られ、スタッフ指導することができます。そして透析室の設備と管理、透析療法と診療報酬、関連法規などの透析分野で働くスタッフに必要な知識が得られます。

新型コロナ事情の中、スタッフ全員が一致団結して透析医療に取り組んでおります。その中で少しでも現場の力になり、患者様に安全・安心な透析治療を提供できるよう向上心を持って努めてまいります。今後ともよろしくお願い致します。

■ 医療連携相談室

TEL 078-918-1512 FAX 078-918-1725
平日 9:00～12:00 14:00～17:00
土曜 9:00～12:00
担当 酒見 古門 上野

編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院 広報委員会
〒673-0881 明石市天文町1-5-11
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657
<http://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>